

INTEGRATED REPORTING <IR>

IIRC ニュースレター 6月号

「統合報告」の 信頼性向上のため、 市場主導型の行動を 要求する IIRC

IIRC では、「統合報告」の全面的な信頼性と信用を強化し続けるための行動を求めている。これは、IIRC が発行した「[Overview of feedback and call to action](#)」に含まれるキーメッセージであり、同資料は 2014 年 7 月にリリースされ、「[Assurance on <IR>](#)」という出版物の発行にともない生じたディベートで提起された重要事項をまとめたものである。

このディベートには、世界中から集まった約 400 名による円卓会議も含まれ、そこで [63 通もの書面による提出物](#)を受け取ることとなった。この Overview には、ディベートから生じた重要な問題がまとめられているばかりでなく、ディベートの発展を促し、有益なものとするために IIRC が最重要と考える行動についても特定されている。

さまざまな組織が信頼性と信用を高めるための多彩な機能を活用しており、保証もそうした機能のひとつではあるが、ディベートからも明らかなように、統合報告が比較的新しい概念であり、いまだ発展途上にあるため、報告の実践とともに「統合報告」の保証もまた、進化していく必要があるのだ。

私たちは、IIRC という組織自体を「統合報告」の保証に向けた基準設定者とは考えていないが、当評議会は、「統合報告」の発展に不可欠な信頼性と信用を高めていく上で保証が果たすべき役割を認識している。

レポートウォッチ：

Eni 社、bankmecu 社、Generali 社、その他多くの企業が「[統合報告 Examples Database](#)」に掲載されている

「統合報告ビジネス・ネットワーク」に参加している

[CPA Australia](#) は Australian Reporting Awards の Integrated Reporting Award を受賞

United Utilities 社は「国際統合報告フレームワーク」の定める指導原則に準拠して作成された [アニュアルレポート](#) を公表

あなたの統合報告書

IIRC の Technical Director である Michael Nugent は、「財務諸表の監査が進化を遂げた数百年におよぶ長い年月に比べ、私たちは現在、『統合報告』の保証に向けた長い旅の出発点に立っているに過ぎません。この旅はたったひとりの旅人によって果たされるものではありません。したがって、IIRC は、『統合報告』の信頼性を高めるために利害関係を有するあらゆる人たちに行動を呼びかけるために、こうした文書を発行しているわけです。こうした利害関係者には、企業・組織自体も含まれますし、内部監査人、財務資本の提供者たち、教育者やトレーナー、基準設定者、とりわけ Integrated Reporting Working Group を設置している International Auditing and Assurance Standards Board (国際監査および保証基準設定部会) なども含まれているのです。」

オランダ上場企業の 3分の1強が 「統合報告」に取り組み中

オランダでコーポレート・ガバナンスに関する機関投資家たちの関心を代表している Eumedion 社によれば「オランダの3分の1超の上場企業が、統合報告への変更に向けた準備に取り組んでいる」ことが判明している。2014年のアニュアルレポートを「国際統合報告フレームワーク」に準拠しつつ作成していると述べた上場企業は6社だが、より多くの組織が「国際統合報告フレームワーク」を報告書作成の参考として明示することなく、統合報告書を発行している。

2015 Focus Letter の中で、Eumedion 社は「組織のビジネスモデルや価値創造力、および価値を創出するために企業が使用する多様な資本に関し、投資家に密度の濃い概要を提供できるように」、「統合報告」に向けた具体的な措置をとるようオランダの企業に呼びかけた。Eumedion 社は、多くの企業が「統合報告」(企業によっては、3年の移行期間を要する長旅ではあるが)に向け動きざしが認められることから、彼らが Eumedion 社のこうした奨励活動を参考にしているものと考えている。フレームワークが利用可

を Email
(info@theiirc.org)
でお知らせください

ブログ:

Christian Strenger
教授による、
[長期投資家の
視点からみた
機会と必需品](#)

ブログ:

KPMG Partner の
Jean-Florent
Rérolle 氏:
[統合報告はフランスで
うまくいっている](#)

能になってから、まだ1報告期間しか経過していないことを考えれば、これはきわめて希望をもてる進歩と断言したい。

Eumedion社のAngeli van Buren氏は次のように語った。「Eumedion社は、オランダにおける統合報告書の進歩に満足しており、アニュアルレポートで、より戦略的な情報に対する投資家のニーズを満たすために来年度はさらに多くの企業が後に続いてくれると信じています。」

オランダ国民は、著名な「統合報告」のリーダーを含め、企業報告の主導的な実践に取り組んできた強固な歴史を持っている。多数のオランダ企業が、多様なコンセプトの試行や、IIRC Pilot Programme に対するさまざまなアイデアの提供を通じ、フレームワーク開発の推進に尽力してくれた。その中には、Eumedion社の引用文のなかで、2014年のアニュアルレポートをフレームワークに基づき作成したとされているAegon社、BAM Groep社およびRandstad Holdings社などの企業も含まれている。

Philips社のSenior DirectorであるSimon Braaksma氏は、「統合報告ビジネス・ネットワーク」に関するコメントの中で次のように述べている。「Philips社では、これまで6年間、統合アニュアルレポートを発行してきましたが、つねに前年の報告書を上回る完成度を実現しようと努めています。また、特定の分野で優れた活動を行っている他の企業が存在し、そうした企業が『統合報告ビジネス・ネットワーク』に参加していることもごく当たり前を確認していますので、弊社では、同ネットワークは弊社が統合報告を次のレベルに向上させていくための助けになってくれると確信しています。」

IIRCのCEOであるPaul Druckmanは、Eumedion社の発表について以下のようにコメントしている。「IIRCはこれまで、投資家たちが提供を受けている情報に不満を抱いている場合、企業の戦略やガバナンス、業績や予想などの分野の情報に対する自分たちのニーズを、投資家たち自身が要求していく必要があると一貫して明確に述べてきました。統合報告が報告の主流になるためには、投資家コミュニティからのそうした引き合いが必要なのです。Eumedion社が投資家コミュニティに代わってオランダの上場企業に

メッセージを発信し活動を続けてきたお陰で、多くの企業がそうした投資家の引き合いに対応するようになったことを喜ばしく思っています。」

人的資本を報告する方法

「コーポレート・レポーティング・ダイアログ」を通じ、2015年5月に発表された Corporate Reporting Landscape Map は、フレームワーク、基準、関連要件等を、企業報告の強化に利用する方法について生じている混乱に対し、初めて示された統一的な対処法として、企業報告コミュニティから歓迎されている。

同マップは、統合報告のレンズを通じ、多様なフレームワークや規格の明確な目的を示し、「国際統合報告フレームワーク」における各種資本やコンテンツ要素に向けたさまざまな「範囲」と「コンテンツ」をマッピングできるよう、同ダイアログの参加者たちにより開発された。

同マップは、同ダイアログ参加者たちからの初めてのアウトプットであり、企業報告の各種フレームワークや基準および関連要件間のより大きな一貫性、整合性および比較可能性を求める市場の声に対応すべく設計された取り組みである。また、「統合報告」のレンズを通して調整能力を実証するための共通の基準点でもある。この記事では、同マップを通じ、同ダイアログ参加者たちそれぞれが、人的資本の報告についてどのように異なる期待を抱いているかを紹介している。「国際統合報告フレームワーク」では、人的資本を以下のように定義している。

「人々の能力、経験及びイノベーションへの意欲、例えば、

- 組織ガバナンス・フレームワーク、リスク管理アプローチ及び倫理的価値への同調と支持
- 組織の戦略を理解し、開発し、実践する能力
- プロセス、商品及びサービスを改善するために必要なロイヤリティ及び意欲であり、先導し、管理し、協調するための能力を含む。」

当然のことながら、財務報告コミュニティの要件およびサステナビリティ分野のコミュニティの要件の間の顕著な違いもあるだろう。International Financial Reporting Standards (IFRS、国際財務会計基準) および Financial Accounting Standards Board (FASB、米国財務会計基準審議会) の会計基準は、いずれも、従業員給付金や退職金プランおよび補償等を含む取引指向の情報を要件としている。

その一方で、Global Reporting Initiative (GRI、グローバル・レポート・イニシアチブ) では、安全衛生や教育訓練等の労働慣行や労働条件の詳細を求めている。その他のフォーカス分野には、非差別や先住民族の権利、安全性対策といった人権に関する諸権利の開示が含まれている。International Organization for Standardization (ISO、国際標準化機構) でも、ISO26000 ガイダンス規格のなかで、人権と労働慣行に関する情報を求めている。Sustainability Accounting Standards Board (SASB、サステナビリティ会計基準審議会) では、公正労働慣行、人材募集、開発と維持のみならず、報酬および給付金情報の開示を奨励している。

多様なフレームワークや、基準が異なる情報を要求しつつ、それらが相互に補強し合い、組織による人的資本のマネジメントについてより完全な全体像を可能にしていることは明らかだ。企業と投資家の意思決定における人的資本の重視は、時間の経過とともに価値を創造するための人的資本という貴重なリソースの重要性を強調している。

組織数の増加により、人的資本に関する報告が促進され、コメントが増えることで、IIRC は組織と協働しつつ、人的資本に対する認識を深めるよう努めている。企業はますます、熟練労働力や参加意欲が高く生産的な労働力の重要性を認識しつつある。「コーポレート・レポート・ダイアログ」の Landscape Map は、組織が、こうしたさまざまな人的資本の関連情報を外部の読者に対して表現するための手助けとなるはずだ。

(本記事に記載されている意見は IIRC の意見であり、必ずしも、「コーポレート・レポート・ダイアログ」参加者の総意を代表するものではない。)

ICGN、WBCSD、Black Sun、UNGC および CERES の設立記念日に、おめでとう！

IIRC では、当評議会と密接に協働してくれている多くの協力パートナーの記念日を祝します。

International Corporate Governance Network (ICGN、国際コーポレートガバナンス・ネットワーク) は、ロンドンにおけるカンフェレンス開催中に 20 周年を迎えた。IIRC Ambassador の Robert Monks は、同カンフェレンスの基調講演において、スチュワードシップのより優れたモデルが求められている現代のニーズに応える 3 つのソリューションのひとつとして統合報告を挙げた。

ICGN は、「市場向けの企業コミュニケーションから派生する企業とのダイアログを通じ喚起される諸問題について投資家を支援し投資家の期待に合致するよう努める企業を支援する開示基準の設定により、統合事業報告に対する理解を促進するための」独自の戦略をもつ統合報告の有力な支援機構のひとつである。

World Business Council for Sustainable Development (WBCSD、持続可能な開発のための世界経済人会議) も今年設立 20 周年を迎えた。IIRC は、WBCSD の President である Peter Bakke 氏を当評議会の Deputy Chairman に迎えたことを光栄に思っている。WBCSD は近年、南アフリカに拠点を置く企業による「統合報告」の採用に関して、含蓄の深いインタビューや調査を実施し、彼らの実践的な経験への洞察や投資家からの反応といった情報を提供している。

企業コミュニケーション代理業者の Black Sun 社では、FTSE 100 の企業のアニュアルレポートに対し実施してきた綿密な研究が 10 周年を迎えたことを祝している。同社は、IIRC Pilot Programme の参加組織が、「統合報告」に向かう旅の 3 年間で経験した利益を追跡する研究を行

うなど、過去数年間で IIRC と緊密に協働してきた。同社はまた、IIRC と緊密に協働しつつ「統合報告 Examples Database」を通じ、さまざまな組織が現在取り組んでいる実践例をとりあげ、組織が現在どのように企業報告イノベーションに挑んでいるのかを紹介している。

UN Global Compact (UNGC、国連グローバル・コンパクト) は 2015 年 6 月、ニューヨークで 15 周年を迎えた。UNGC は、LEAD プログラムを通じ、統合報告の促進に努めてきたが、同プログラムは、企業による先進的なサステナビリティ実践を創出し、実現するための共同作業スペースを提供してきた。ARM Holdings 社、ENI 社、Novo Nordisk 社等を含む LEAD 参加企業の多くが、現在も先進的な統合報告企業として活躍している。

25 周年を迎えた CERES も「統合報告」の著名な支援組織のひとつであり、IIRC は、CERES President の Mindy Lubber 氏が IIRC Council として参加してくださっているという恩恵に浴している。

IIRC は、こうしたパートナーの皆様に、擁護による知名度向上、研究活動等、多くを依存している。IIRC の取り組みの世界的な普及、およびその結果としての「統合報告」に向けたモメンタムの創出は、これらの皆様の貴重なご支援なくして不可能だった。

あるグローバル投資家の展望

Henderson 社、Nick Anderson 氏のブログより

自動車、投資および無形資産

自動車の購入者が現在何を重視しているか？消費者サーベイによれば、クルマのスタイリングや外装デザインも上位にランクされているが、最も重要な要素として、信頼性、価格、ランニングコスト、燃費、安全性が重視されている。新型車には、車線逸脱警告システムや自動駐車、統合通信システム、停車・発車性能といった技術が組み込まれている。4 月には、無人自動車がほとんど人間の助けを借りずにニュー

ヨーク - サンフランシスコ間を完走した。

こうした技術における重要な要素はソフトウェアである。私たちが手で触れ、目で確認することができない数百万本にのぼる回線とは、いわば無形資産だ。Continental 社、Delphi 社、デンソー、パナソニックなどの大手自動車部品メーカーは、ソフトウェア技術者数千人を採用してきた労働力の形態を変革しつつある。今日の自動車ユーザーにとって、目で確認できる車両の明らかな特性はそれほど重要ではなく、有形の属性は乏しい。同じことが、投資にもいえる。

投資家たちが、ソフトウェア、ブランド、特許、顧客ロイヤルティ、規模、創造的才能、市場ポジションやマネジメント能力といった無形資産価値に注意を払っていることは明白だ。企業の大半は彼らの有形資産の価値に対する重要なプレミアムによって取引を行っている。ファンドマネージャーやアナリストたちは、彼らが現代の企業の潜在的可能性を評価する際の手助けとなる財務報告に何を求めているのか？

会計士たちが最も望まないことは、バランスシート上の無形資産に公正価値をつけることにより企業評価を行うことである。とりわけ、M & A 会計における財務諸表の中にそうしたやり方が見出された場合には、それが投資家の助けになるとは限らない。企業評価は資本市場の役割であって、会計士の仕事ではないからである。

ことばと数字

企業の業績や見通し、企業が直面する機会とリスクといった企業のストーリーを語り伝えることは、ページ上の単なることばや数字以上のものを必要とする。投資家は、報告された会計に基づきリターンを得ようと努めるものだ。私たち投資家は、長期的なキャッシュフローを生むために、事業の基本的な経済性やその潜在的可能性を理解したいと考えているのだ。最高の財務報告においては、ストーリーと数字が一体となって企業を物語る。必然的に、ことばは、企業の見通しを説明する上で大きな役割を担う。しかし、最も基本的なレベルでさえ、ことばと数字の統合こそが鍵である。ストーリーを語る上では、財務諸表の数値とは関係のない設備投資といった特定のデータ項目を強調することはき

わめて苛立たしく感じられるものだ。

また、長たらしい文章こそもっとも避けるべきものだ。たいがいの場合、一貫した戦略をもつマネジメントチームに限って最高に簡潔な方法で自分のストーリーを語るものだ。ことばが何頁にもわたって続く場合など、それが戦略を持っていない証拠のように感じられることがある。ぎっしりスペースを埋める大量のテキストを読まなければならないと考えるだけで心は沈んでしまう。最悪なのは、狭いテキストコラムにそうしたテキストが詰め込まれた場合や、青色の背景色の上に薄いグレーのフォントで表示されている場合だ。眼鏡に手を伸ばさざるをえなくなるが、その場合にもせめて、白の背景色のページ全体に読みやすい間隔でレイアウトしたテキストでお願いしたいものである。

私は米国の10K書類の平易なフォーマットに感謝しながら成長してきた。グローバル投資家として、私には多くの国々の財務報告を閲覧する機会がある。昔は10K書類を読むのが億劫だったが、今では歓迎している。いくつかの点で、10K書類はきわめて規範的ではあるが - 奇妙なことに、ノート4は安全開示の鉱脈だが。しかし、同様に、「ビジネスモデル」「戦略」「市場構造」「競争上の優位性とリスク」などの見出しを使用しつつ統合的な方法で自社のストーリーを語りたいと考える企業にとって、十分な柔軟性もある。

投資家の焦点

統合報告が進化し続けることによって、投資家にとってどんなメリットがあるのか？まず、私たち投資家は数字を無視すべきではない。質の高い会計には、統合的なアプローチが重要であり、とりわけキャッシュフローの報告や無形資産の償却等については、基準設定者たちはもっと多くの改善を行う必要がある。報酬に関するより明快な報告も有り難いが、あくまでもストーリーの報告を簡潔に維持しながら、重要な課題にはしっかりと焦点を当てることが不可欠だ。投資家は、報告当事者たちのイノベーションを歓迎はするものの、単なるギミックに陥ることは警戒する必要があるだろう。

現在、最低限の規制要件を満たしているだけの報告もあれば、既存のフォーマットで作成された優秀な報告もある、と

いう具合に、報告の質には大きなばらつきがある。そして、もちろん、それ自体が投資家たちにとって情報価値があるのだが。

Nick Anderson 氏は、*Henderson* 社の *Global Sustainability Funds* の *Co-Manager* と、*Equity Research* の *Head* を務めている。



Website



Twitter



LinkedIn



YouTube

Contact: juliet.markham@theiirc.org

Copyright © 2015 International Integrated Reporting Council, All rights reserved.
[unsubscribe from this list](#) [update subscription preferences](#)